

取扱説明書

MICRO FOOTLIGHT24

マイクロフットライト24

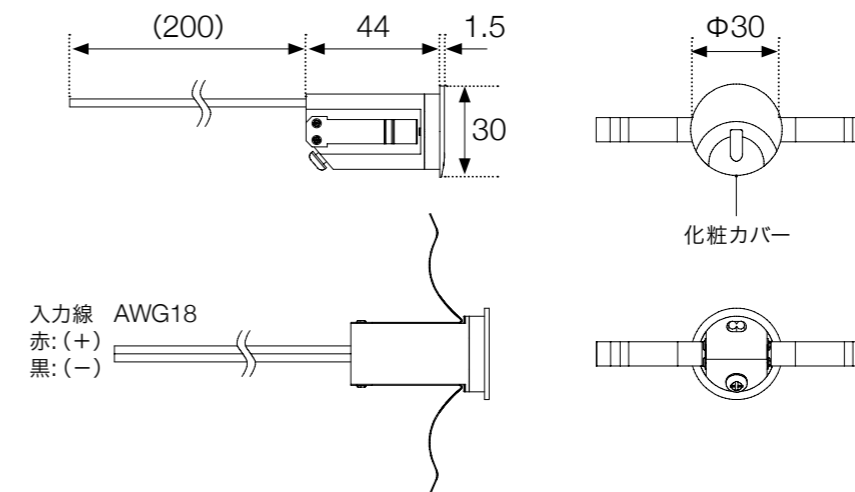
品番

MFL24-□□K-□

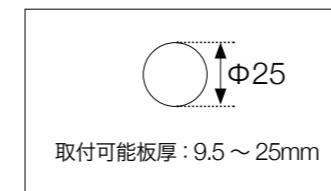
光源色

カバー色

製品仕様 単位: mm



取付寸法



光源色

22K : 2200K
 24K : 2400K
 27K : 2700K
 30K : 3000K

カバー色

B : ブラック
 W : ホワイト

定格入力	DC24V
消費電力	1.5W
開口寸法	Φ25mm
主素材	発光部: PC 本体: アルミ
製品重量	本体: 約40g
演色性	Ra85
保護等級	IP66 (施工後,表面において)

01 ご使用前にお読みください

- ・ 本製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、必ず保存してください。
- ・ 出荷案内書の記載内容と商品の種類および数量が正しいことをご確認ください。
- ・ 出荷時には慎重に梱包しておりますが、開封した時に万一製品が破損していた場合はすぐにお知らせください。
- ・ 灯具の取り付けは、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および、本取扱説明書にしたがってください。(取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります)
- ・ 配線工事は、必ず工事店又は有資格者に依頼してください。(一般の方の電気工事は法律で禁止されています)
- ・ 分解、改造は行わないでください。製品保証対象外となります。
- ・ LED製品には、LED素子の性能向上や素子製造時のばらつきにより、個々のLEDで発光色や明るさが異なる場合があります。
- ・ 絶縁測定器等は使用しないでください。故障の原因となります。
- ・ 照射距離が近い時や照射面の状態によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。

2025.1.7

02 安全にご使用いただくために

本製品は定格DC24Vです。AC100Vなど定格を超えた電圧がかかると、灯具が破損します。発煙・発火の原因となります。定格電圧と配線には十分に注意してください。

本灯具は一般照明器具です。下記のような使用環境、条件下では使用しないでください。



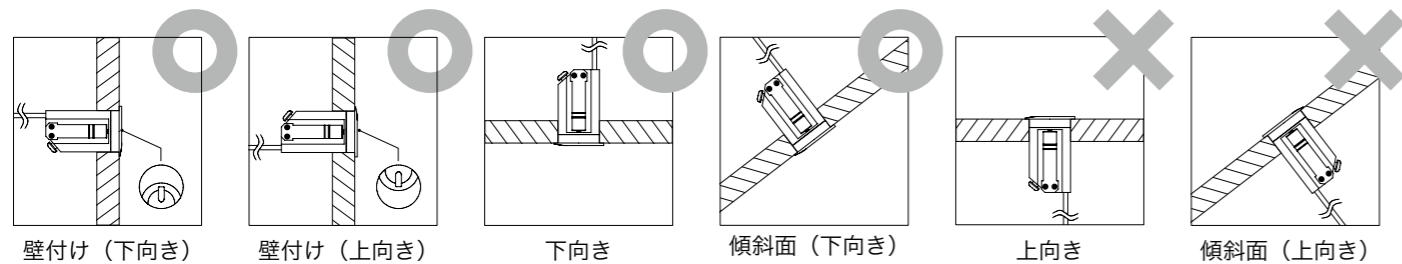
注意

- 周囲温度が0°C～40°Cの範囲を超える環境
- 周囲湿度が15～85%RHの範囲を超える、あるいは結露が生じる環境
- 粉塵が多い場所、振動が多い環境
- 可燃性ガス、腐食性ガスなどの発生する環境（シーリング材を密閉空間で使用した場合、ガスが発生する場合があります。）
- 浴室など湿気が多い環境
- 水没するおそれのある環境

※使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、弊社までお問い合わせください。

取り付け方向について

器具の取付場所および方向は、必ず下図の“○”で指定している場所・方向に取り付けてください。

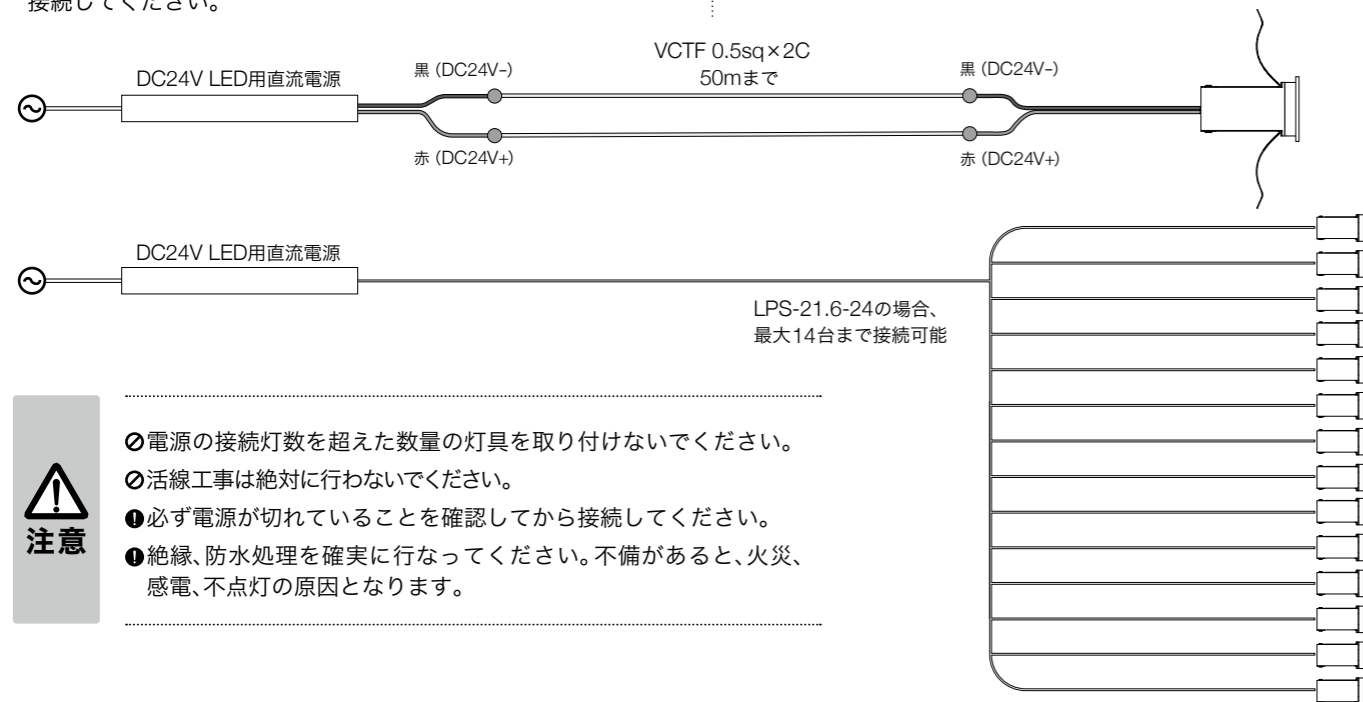


03 電源と配線

・マイクロフットライト24の点灯には、灯具本体とLED用直流電源が必要です。延長距離は推奨電線VCTF 0.5sq×2C電線を使用し、最大50mまで延長可能です。

・調光しない場合には、灯具側の赤電線（+）をLED用直流電源の赤電線（+）に、黒電線（-）をLED用直流電源の黒電線（-）に接続してください。

・1台の電源で複数のマイクロフットライト24を接続することも可能ですが、電源の最大接続灯数を超えないようにしてください。LPS-21.6-24の場合、最大14台まで点灯が可能です。



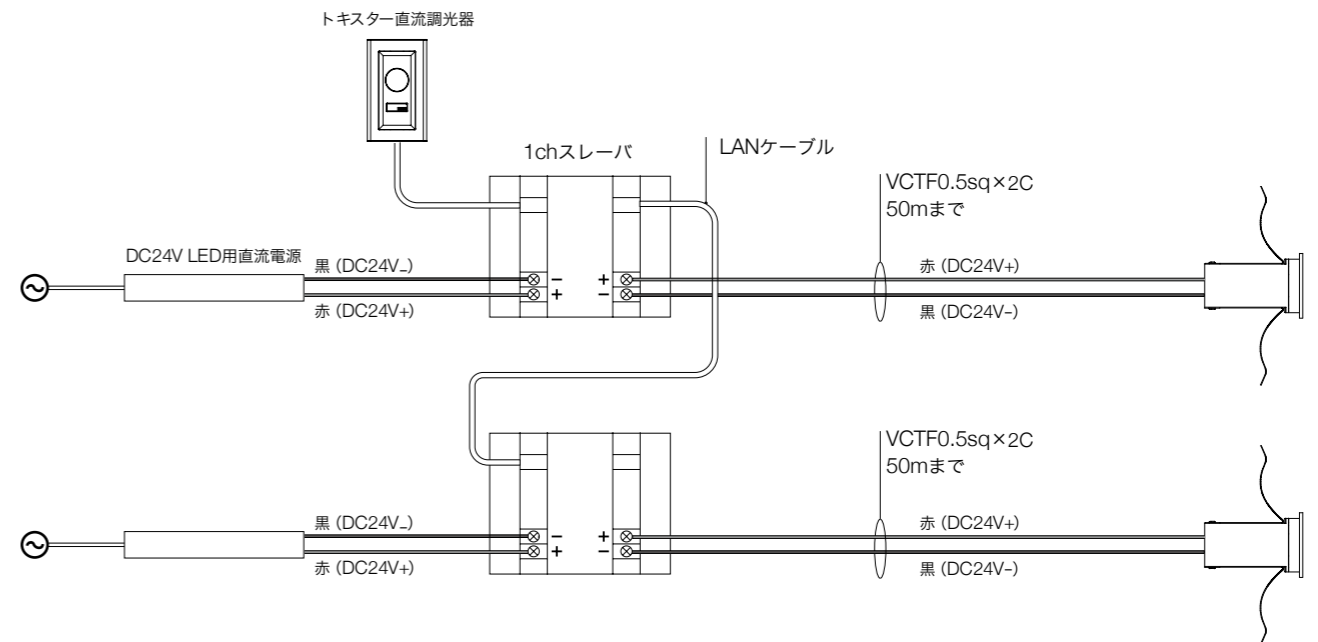
注意

- 電源の接続灯数を超えた数量の灯具を取り付けしないでください。
- 活線工事は絶対に行わないでください。
- 必ず電源が切れていることを確認してから接続してください。
- 絶縁、防水処理を確実に行ってください。不備があると、火災、感電、不点灯の原因となります。

04 調光時の配線

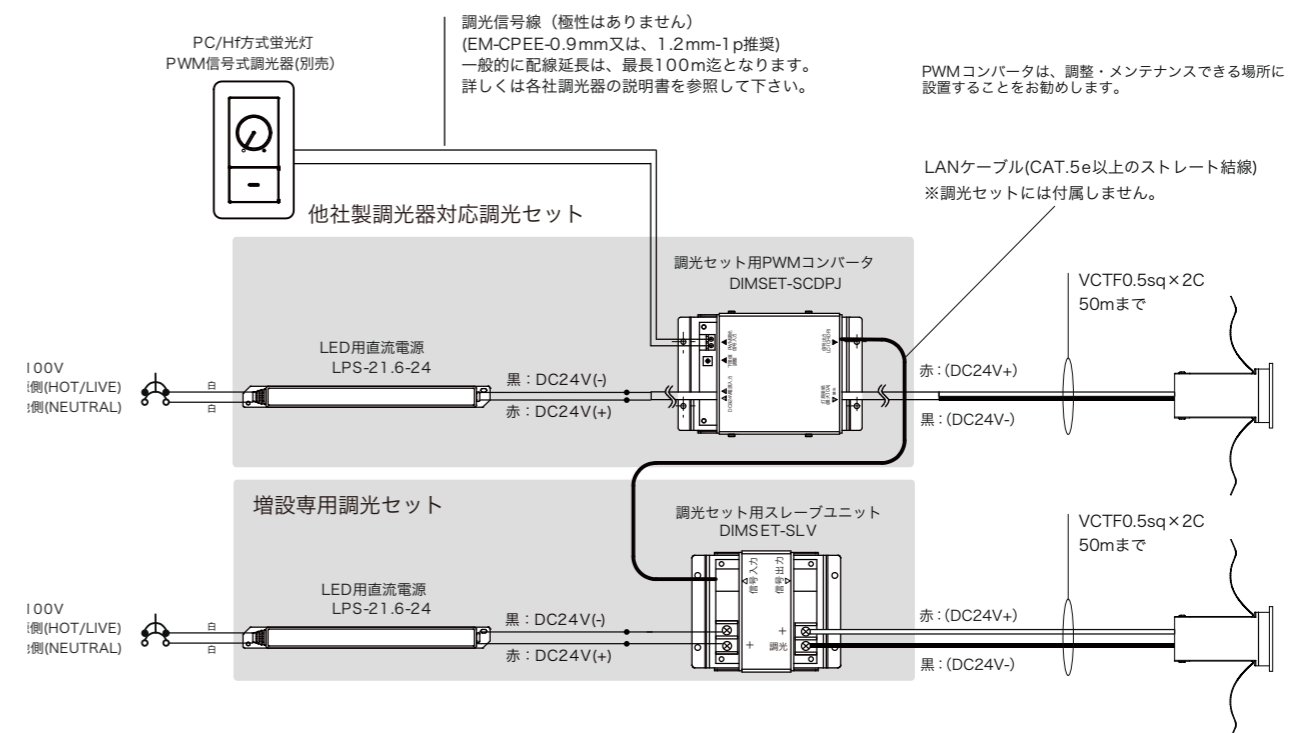
調光器付調光セット使用時の配線

- ・マイクロフットライト24を調光点灯するには、専用の調光セットが必要です。詳細は各機器の取扱説明書をご確認ください。
- ・1chスレーバ1台で、マイクロフットライト24が14台まで点灯可能です。



※上記図は調光器（LC-DMRJ/A）と1chスレーバ（LC-1CH-DPJ）の組み合わせ例です。

他社製調光器対応調光セットと、増設専用調光セットを1セットの場合の組み合わせ例



05-1 施工手順 (屋内)

STEP 1 | 先行配線

・先行工事として、PF管（可とう管）とスイッチボックス（2個用・深型）を準備して配管工事を行ってください。

・電源から本製品を設置するスイッチボックスまで電線管（PF管等）を設けVCTF 0.5sq×2C電線を先行配線してください。開口穴が極めて小さいため、後からの配線施工が困難となります。

VCTF 0.5sq×2C
電線を開口から取り出し易く出来るようにボックス内で余長を持たせてください。短いと取り出せない場合があります。

スイッチボックス（2個用・深型）(H100xD45xW100)
※ボックスのセンターに開口する際に、アルミ箔付きのボックスを選ぶと壁裏センサーで墨出しが容易です。

※石膏ボードの適合板厚は9.5～25.0mmです。

※電線は2重被覆の柔軟なケーブルで行ってください。推奨電線VCTF0.5sq×2C等。固いケーブルでは施工できないおそれがあります。

STEP 2 | 開口・電線の取り出し

・Φ25mmのホールソーを使い、スイッチボックスの中心に開口してください。刃先で電線を傷つけないようにご注意ください。

・ピックツールを用いてリード線を開口部から引き出してください。壁の小口が崩れないようにご注意ください。

・ピックツールの代用として、VVFケーブルの単線を曲げてカギ状にして使うことも可能です。

ピックツールで電線を引っ掛けて手前に引き出す。

STEP 3 | 電線の接続

・リングスリーブ等で圧着後、絶縁処理を行い、電線をボックス内へ入れてください。

STEP 4 | 本製品の取り付け

・取り付けの向きは図の通りに取り付けてください。

・取り付け前に点灯確認を行ってください。

× 取り付けパネは開かず、灯具と一緒に押し込んでください。

○ 取り付けパネが閉じた状態

- 注意**
- 指定の接続方法に従わない施工は、故障の原因となりますのでおやめください。
 - 施工の前に、必ず点灯検査を行ってください。
 - 作業は電源を切った状態で行ってください。
 - 取り付けの際、工具などで灯具を傷つけないでください。
 - 推奨電線以外の電線を使用する場合や、特殊な施工条件の場合は弊社までお問い合わせください。

RC型枠施工 (屋外/屋内) については、PAGE5をご確認ください。

05-2 RC型枠施工 (屋外/屋内)

STEP 1 | 通線作業の準備

ボックス支持材を使い、配管工事を行ってください。IV線など通線用のリーダーを予め配線してください。ボックス内に水が溜まらないよう、排水処理管を取り付けてください。

STEP 2 | コンクリート打設

塗代カバーが型枠に密着固定されていることを確認し、コンクリートを打設してください。

STEP 3 | 通線作業

型枠を外し、ピックツール等を使用し、通線用のリーダーを引き出してください。配線はVCTF 0.5sq×2Cを使用してください。

STEP 4 | 接続と取り付け

本製品の取り付け向きに注意してください。化粧カバーの廻り縁にコーキング (全周) を行ってください。

注意 ● 排水処理を確実に行ってください。不備があると、火災、感電、不点灯の原因となります。

05-3 PCプレキャスト・各種サイディング (屋外壁)

PC、各種サイディング (木質、金属、樹脂、タイル系) の場合、Φ25mm開口後に、配線を出しておいてください。